

中野駅駅前広場デザイン等整備方針（素案）に関する意見交換会の開催状況について

1. 意見交換会の概要

日 時：令和2年10月29日（木）午後7時から8時30分

会 場：中野区産業振興センター

参加者：18名

説明内容：中野駅駅前広場デザイン等整備方針（素案）について

2. 主な意見と見解等

【コンセプトについて】 （1）件

No.	区民等からの意見など	区の見解等
1	コンセプトの「つながる、まじわる、たかまる」のたかまるの「新たな価値」とは、具体的に何を想定しているのか。	中野に住む人や中野を訪れた人が、それぞれの目的地に行くことだけでなく、歩行者動線をつなぐことで、4つのまちを交わせ、人の流動と活動をうながすことで、新たな魅力が生じると考えており、この新たな魅力が「新たな価値」につながると考えている。

【歩行者デッキについて】 （3）件

No.	区民等からの意見など	区の見解等
2	南口駅前広場、新北口駅前広場とも交通結節点として、雨天でも快適に通行できるよう連続したシェルターが望ましい。	バス等の乗り換えや駅に向かう動線についても、いつでも快適に通行できることが必要と考えられるため、その旨をデザイン等整備方針に記載する。
3	デッキ下が日陰となり、温かみがなく、人がいないということにならないか心配である。	デッキ下については、必要な機能を満たしながら暗くならないよう広場の設計作業の中で検討していく。
4	将来的には中野駅新北口駅前エリア拠点施設や囲町側にも歩行者デッキができるが、まずは各駅前広場をつなぐことが重要ではないか。	各駅前広場をつなぐことは重要だと考えている。中野四丁目と中野五丁目をつなぐ東西連絡路は整備済みであり、中野三丁目と中野四丁目をつなぐ南北通路は着工している。一方、中野二丁目と中野三丁目、中野二丁目と中野五丁目をつなぐ歩行者動線についても将来構想はあり、まちづくりの進捗状況に合わせて実現化を検討していく。

【防災について】 (1) 件

No.	区民等からの意見など	区の見解等
5	西口広場の階段下を利用して、備蓄倉庫を設けてほしい。	詳細については、今後、検討していく。

【その他】 (3) 件

No.	区民等からの意見など	区の見解等
6	整備方針だけでなく、実現手法についても組織づくりをしっかりと行ってほしい。	整備方針の実現手法については、今後、詳細について検討していく。
7	広場のシンボルツリーは、地域にゆかりのある木を植えてほしい。	植栽については、地域の歴史なども踏まえて今後、広場の設計作業の中で検討していく。
8	西口広場の名称について、変更することは可能か。	現状は、都市計画上の名称として、西口広場を使用しているが、区には道路の愛称制度があり、地元から要望が寄せられ、一定の基準に適合した場合に愛称をつけることができる。